

## 区民啓発事業の開催報告について

## 1 在宅療養シンポジウム「医療や介護が必要になったとき～在宅療養という選択～」

## (1) 開催日時・会場

平成 25 年 11 月 16 日（土） 午後 2 時 30 分～5 時  
練馬区役所地下多目的会議室

## (2) 内容

第 1 部 講演「在宅医療でできること」

鈴木内科医院副院長 鈴木 央

第 2 部 パネルディスカッション

<コーディネーター>鈴木 央

<パネリスト>

医師：岡田医院 在宅医療部長 岡田徹也

薬剤師：エリ薬局 管理薬剤師 新井みどり

訪問看護師：桜台訪問看護ステーション 管理者 内田幸子

介護支援専門員：NPO むすび 管理者 木田正吾

在宅療養相談窓口相談員：光が丘相談センター光が丘支所主任 安井晴代

介護者家族：ブーケの会 世話人 小泉晴子



### (3) 来場者数

114名 スタッフ 11名 計 125名

### (4) アンケートより (回収数 84 件)

Q シンポジウムの内容はいかがでしたか？

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1 大変参考になった      | 52 |
| 2 ある程度参考になった    | 23 |
| 3 あまり参考にならなかった  | 1  |
| 4 まったく参考にならなかった | 0  |

Q 今回のシンポジウムに参加して、医療や介護が必要になった時、一つの選択肢として在宅療養を考えることができると思いましたか？

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 1 思った    | 58                      |
| 2 思えなかった | 2 (老夫婦 2 人生活のため、急変時が不安) |
| 3 わからない  | 7                       |

#### <記述意見> (抜粋)

- ・専門職だけでなく家族の立場からの意見が聞けたのがよかった。
- ・今回のようなシンポジウムを身近な場所でもやってほしい。
- ・今 ICUに入っている家族のこれからについて考えていたところだが、在宅療養の大事な点、内容がよくわかった。
- ・在宅療養についてははっきり理解できでないが、安心感がある様な気がします。
- ・自分の身に置き換えてみた場合、在宅療養を希望するが、まだ不安なことが多くある。
- ・実際に在宅療養をして看取られた家族の方の話も聞きたかった。
- ・訪問看護の利用の仕方が理解できた。
- ・全体に参考になりました。私は5年前主人を介護しましたがこれほど教えられた事はありませんでした。ありがとうございます。
- ・本日のような内容を別地域(石神井、大泉)で実施してもよいのではないか。
- ・在宅医療、介護にまつわるお金の話を聞きたい。
- ・練馬区の在宅支援に関して詳しく知ることができ、少し希望が持てた。
- ・在宅療養する具体的な選択先を知りたい。
- ・在宅療養が選択肢の一つであることは分かるが、できれば入院しての治療を考えてしまう。
- ・在宅療養相談窓口、介護なんでも相談など知ることができた。

## 2 第6回認知症フォーラム

### (1) 開催日時・会場

平成25年11月9日(土) 午後2時～4時30分  
練馬区役所地下多目的会議室

### (2) 内容

第1部 講演「昼の上で大往生！」～看取りへの処方箋～  
(株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長  
暮らしの保健室 室長 秋山 正子

第2部 情報ひろば  
介護家族会・高齢者相談センター・社会福祉協議会

### (3) 来場者数

108名 スタッフ25名 計133名

### (4) アンケートより(回収数67件)

Q 現在の状況

介護中17 過去に介護経験12 介護に関心あり13 福祉・医療職18

Q 講演について

よかった54 ややよし11 普通2 やや不可…以下0

### <記述意見>(抜粋)

- ・練馬区にも秋山先生がいらっしゃるとういんですね。
- ・どうやって死んでいくのか、自分の心構えが少しできた。
- ・自然死を理解できた。私もそうしたいし、そうしてもらいたい。
- ・自宅での看取りを希望している。訪問看護の体制を充実してもらいたい。
- ・家で看取られるのは素敵だが、いろいろな条件が整わなくては大変と思う。
- ・地域で生きていくことをしっかり考えて地域の在宅医療・看護を発展させなければいけない。
- ・介護と医療の連携が不足している。療養相談窓口も自分でやろうとしないで速やかに医療機関を紹介してほしい。
- ・終末期、看取りに関する情報提供(勉強の場)、在宅療養への支援を望む。
- ・「暮らしの健康手帳」のような在宅療養ハンドブックをつくってほしい。
- ・認知症の人の受入れ場所を増やしてほしい。
- ・介護予防に力を入れて健康的な高齢者を増やしてほしい。
- ・練馬区は認知症に対してかなり前向きに対応していると思う。